

TQ-7000_角/丸 ライトユニット 説明書

このたびは本製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。この説明書、下記の注意書きなどをよくお読みの上、お楽しみください。



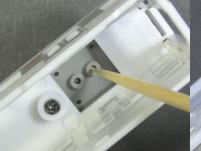

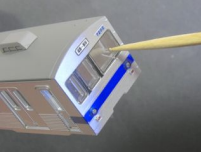
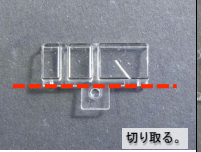

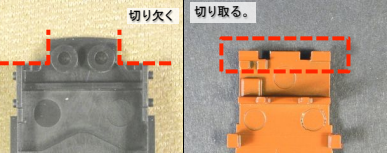

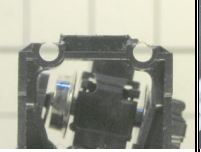
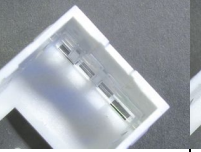
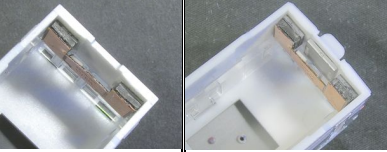

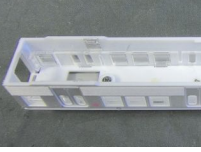

【はじめに】
点灯化キットは、鉄道コレクションに、集電システム、ライトユニット、室内灯を組み込み、ヘッド・テールライト、室内灯を点灯させるためのキットです。
本キットは、東急7000系(初代)の譲渡車のうち、先頭車改造を行ない、かつ角形の尾灯が装着された車両に対応します。
具体的には以下の車種に対応します。
・福島交通7000系
・弘南鉄道7000系
・北陸鉄道7200系
・水間鉄道1000系
本キットは、トレーラー車、動力ユニット付き車、どちらにも対応します。(チラツキ対策を施しています。)

⚠️【注意】
・この商品は15歳以上のお客様にお楽しみいただける商品です。
・機能上小さな部品が使われており、誤飲の危険がありますので、3歳未満のお子様には絶対に与えないでください。
・機能上尖った部分があります。取り扱いには十分ご注意ください。
・加工の際の刃物や工具の取り扱いには十分ご注意ください。
・加工、組立の際に出たクズは、すぐに捨ててください。
・接着剤・塗料は、火気のない場所で、換気に注意してお使いください。
・車両は必ず直流(DC)12V以下で運転してください。交流(AC)は絶対に使用しないでください。
・ライト類は必ず動力車と編成を組んだ状態で点灯させてください。また、停止させたまま長時間点灯することはおやめください。
・脱線した場合、動力車やパワーユニットが発熱する恐れがありますので、直ちに電源を切り、復旧させてください。
・当キットのライトユニット・室内灯は、1両あたり合計最大約30mAの電流が流れます。電源の容量をご確認の上、お楽しみください。

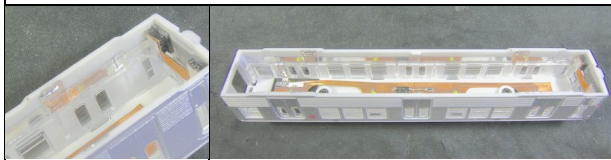
【パッキングリスト】
このキットには、以下の材料がセットされています。加工を始める前に不足がないかお確かめください。
【ライトユニット】
・ライトユニット : 1個/セット
【その他】
・説明書(本紙) : 1枚
・導電性アルミテープ(15mm×約120mm) : 3枚/箱
※導電性アルミテープは、楊枝や綿棒などを使って、しわを伸ばすようにして、しっかりと張ってください。
※導電性アルミテープは、導電性の接着剤が塗布されていますが、何度も貼り直しているとう導電性が失われていきます。接着剤の導電性を活用する箇所では、一度しっかり貼ってしまったアルミテープの再利用は避けてください。

【必要な工具】
・カッティングマット
・ピンセット
・ニッパ
・プラスチックドライバー
・両面テープ
・木工ボンド
・ポリエステルテープ(ニチバン「マイラップ」、セメダイン「ラビー」など)
・カッターナイフ(デザインナイフが望ましい)
・楊枝、綿棒など
・ピンバイス(0.3mm、0.5mm、0.8mm、1.0mm)
・精密ヤスリ(平、丸、半丸など)
・ゴム系接着剤
・ブラモデル用接着剤
・直定規
・塗装面を保護する柔らかい布
・ポンチ(ブッシュピンなどでも可)
・サンドペーパー
・マスキングテープ
・瞬間接着剤
・遮光用の塗料(黒または銀)

●取り付け手順

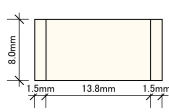
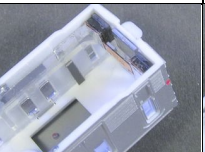
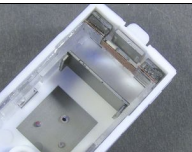
| | | | | | |
|---|--|--|---|--|--|
| 1. 分解する | | | | | |
| 1-1 床板を外す  | 1-2 パンタグラフを外す  | 1-3 窓ガラスを外す  | 1-4 ライトレンズを外す  | | |
| 車体と床板の間を押し広げ、床板を外します。 | この車種は、屋根を外すことは必須ではありません。屋根を外さない場合は、傷をつけないように、柔らかい布などで保護しながら作業してください。 | パンタグラフは、楊枝などで内側から押して外します。 | 窓ガラスは、側窓、前面の順に外します。側窓の前面との接触部が外しにくい場合は、O印部の前面側にある突起を削ると、外しやすくなります。 | 楊枝などを使って、外側から、左右のライトレンズを交互に押し外します。ヘッド・テールライトは使用しないので保管します。 | |
| 2. 車体を加工する。 | | 3a. 床板を加工する (トレーラー車の場合) | | | |
| 1-5 前面窓を外す  | 2-1 前面窓を加工する  | 1-3 側窓を加工する  |  | | |
| ライトレンズと一緒に外れてしまうかもしれませんが、次いで前面窓を外します。楊枝などを使って、外側から押して外します。 | 前面透明パーツを、窓の下で切断します。ヘッド・テールライトは使用しないので保管します。 | 側窓前縁を、乗務員扉の窓の下前角に接する45度の線でカットします。カッターで角度備を付けてから折ります。 | 床板前縁の両サイドを切り取ります。枕木方向はダミーカブラーの取り付け穴まで、線路方向はTNカブラーの台座の手前まで切り取ります。 | | |
| 3b. 動力ユニットを加工する (動力ユニットを組み込む場合) | | 4. 基板を配置する | 5. 配線する | | |
|  | | 4-1 前面窓をはめる  | 4-1 ライトユニットをはめる  | 5-1 側窓をはめる  | |
| 動力ユニットのスペーサーの両サイドを切り取ります。枕木方向はダミーカブラーの取り付け穴まで、線路方向はTNカブラーの台座の手前まで切り取ります。 | | 動力ユニットのフレームのうち、前項で切り取ったスペーサーからはみ出る部分を削り取ります。 | 前面窓の貫通扉両側の柱の部分に、両面テープを貼ります。 | ライトユニットをはめます。緩い場合は、両面テープなどで固定します。 | 連結面窓→側窓の順に窓ガラスをはめます。必要に応じて両面テープで固定します。 |
| 5-2 側窓下の凸部にアルミテープを貼る  | | 5-3 ライトユニットへの配線  | 5-4 給電パッドの重ね貼り  | | |
| 床板との嵌合部の凸部に、5mm×5mmのアルミテープを貼ります。テープの先端が車体裾に接するように貼ります。 | | 車体の四隅の嵌合部に貼ります。 | | 1.5mm×12mmのアルミテープを使い、側窓下からライトユニットの給電パッドまで配線します。※必ず1.5mm幅の細いテープを使用し、シワを伸ばすような感じで、しっかりと圧着します。 | |
| | | ライトユニットの給電パッドの通電の確実を期して、3.5mm×5.5mmのアルミテープを重ね貼ります。※重要なテープですので、新鮮なテープを使用し、シワを伸ばすような感じで、しっかりと圧着します。 | | | |

5-5 側窓下をアルミテープで結ぶ



この項目は、室内灯を取り付ける場合は、室内灯を取り付けた後に、作業します。
 車体用アルミテープB(3mm×100mm)を使って、側窓下端の目印の線に沿って、ライトユニットへの配線、前の嵌合部、後の嵌合部、室内灯の配線の4ヶ所を、一気に接続するように貼ります。
 ※重要なテープですので、新鮮なテープを使用し、シワを伸ばすような感じで、しっかりと圧着します。

●乗務員室仕切りを取り付ける(室内灯を取り付ける場合にお好みで)

| 0. パーツを作る | 1 棧を取り付ける | 2 仕切りを取り付ける |
|--|--|---|
| <p>乗務員室仕切り 型紙</p>  <p>0.5mmのプラ板でパーツを作ります。 (遮光に適した黒いプラ板を分売しています)</p> |  <p>乗務員室仕切りの棧を、乗務員室扉後部の壁の中央に、両面テープで固定します。両面テープは、壁への接着面だけでなく、前側の切口までL字形に貼っておきます。</p> |  <p>乗務員室仕切りを、棧の後側に設置します。</p> |

TQ-7000.角/丸 説明書 2.00
 2014/09/18 1.00 初版
 2015/04/01 2.00 製品フォーマット改定に伴う新版
 2017/08/25 3.00 製品フォーマット改定に伴う新版

補修用にアルミテープ等を分売しています。
ism-works.shop-pro.jp をご覧ください。

《お問い合わせ先》
 イズムワークス・直売所
 〒249-0002 神奈川県逗子市山の根1-5-15. 店舗営業はしていません。
 phone:0468-27-7261, 10:00~18:00 土日祝休業, e-mail:shop@ism-works.shop-pro.jp.

ISM WORKS
 ism-works.shop-pro.jp

